令和８年１０月６日（火）　１４：００～１６：００

令和８年度　第３回横山小学校運営協議会

～　次第　～

本年度の重点【目指す子供像】
～10 の取り組みを通して、目指す子供の姿～
「自他を大切にする子」　「ねばり強く取り組む子」　「主体的に行動する子」

１　開催要件（過半数の出席）確認

２　会長挨拶

３　校長挨拶

４　議長の選出（出席した委員の中から互選）

５　前回会議録確認

※　授業参観　14:10～14:25　６年教室

６　熟議
（１）前期学校評価の結果について（遠見石）
（２）全国学力･学習状況調査の結果と学びの推進について（遠見石）
（３）光明小２年横山探検の支援について（遠見石）

７　報告
（１）図書室・郷土資料室ボランティアについて（市川）

８　連絡
（１）浜松市教育委員会　学校･地域連携課より　　地域連携グループ　磯部志保 様
（２）11 月 20 日（金）光が丘中学校区健全育成会･ＰＴＡ教育講演会の御案内（教頭）
（３）学校運営協議会自己評価（各委員による評価）のお願い（教頭）
（４）11 月 29 日（日）8:00～9:30 予備日:12/13（日）資源回収について
　　※光が丘中 PTA 主催
（５）次回
　　開催日時：令和９年２月２日（火）14:00～16:00（授業参観を含む）
　　熟議内容：学校関係者評価について

令和８年度　横山小学校運営協議会名簿（Ⅱ期２年目）

※敬称略

		氏名	備考
1	委員	青山　敏郎	人権擁護委員、元校長
2	委員	溝口　　玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会委員長、元校長
3	委員	内野　永士	竜川連合自治会長
4	委員	藤原　東	龍山自治会連合会長
5	委員	今場　嘉寿	元横山小ＰＴＡ会長
6	委員	長田テツ子	元体育指導員
7	委員	田中　　綾	R4ＰＴＡ会長代理、元竜川幼ＰＴＡ会長
8	委員	太田亜希子	学校支援コーディネーター、保護者代表、元竜川幼ＰＴＡ会長
9	委員	棚橋　　凌	R8ＰＴＡ会長
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	田中　謙詞	竜川ふれあいセンター所長
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	藤澤　典広	浜松市龍山支所長
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	坂井　久司	龍山民生委員、児童委員協議会会長
	ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	森下　智子	竜川主任児童委員
		長坂麻里子	校長
		鈴木　正委	教頭
		遠見石範子	教務主任、コミュニティ・スクール担当
		沖　みどり	ＣＳディレクター
		市川　有佳	学校支援コーディネーター、図書館補助員、理科支援員

令和８年度　横山小学校運営協議会　年間開催計画

※会場は、校舎３階　多目的教室（ＣＳルーム）

回	日時	備考
第１回	令和８年　５月１４日（木）14:00～16:00	授業参観
第２回	令和８年　６月２５日（木）　9:45～11:45	授業参観、教職員参加
第３回	令和８年１０月　６日（火）14:00～16:00	授業参観
第４回	令和９年　２月　２日（火）14:00～16:00	授業参観、学校関係者評価、自己評価

令和８年度　第２回　横山小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開 催 日 時　　令和８年６月２５日（木）　９時４５分から１１時００分まで
２　開 催 場 所　　横山小学校　３階多目的教室
３　出 席 委 員　　青山 敏郎、 溝口　玄、 内野 永士、 藤原　東、 今場 嘉寿、
　　田中　綾、 太田 亜希子、 棚橋　凌
４　欠 席 委 員　　長田 テツ子
５　オブザーバー　　田中 謙詞（竜川ふれあいセンター所長）、藤澤 典広（浜松市龍山支所長）、
　　坂井 久司（龍山民生委員）、 森下 智子（竜川主任児童委員）
６　学校支援コーディネーター　　市川 有佳
７　学　　校　　長坂 麻里子（校長）、 鈴木 正委（教頭）、 遠見石 範子（ＣＳ担当）
　　石原 侑樹（６年担任）、榊原　萌（養護教諭）、 沖 みどり（CSﾃﾞｨﾚｸﾀｰ）
８　傍　聴　者　　なし
９　会議録作成者　　ＣＳディレクター　沖 みどり
10　議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、青山会長から溝口副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11　協 議 事 項

（１）少人数児童での学校行事や学校生活の場面においての支援について

① 光明小２年横山探検において、どのような支援ができるか。

② 学習活動を充実させる活動について、どのような支援ができるか。

12　会 議 記 録

司会の鈴木教頭から、委員総数９人のうち８人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（１）少人数児童での学校行事や学校生活の場面においての支援について

〈グループの割り振り〉

A：（委員）青山、藤原、今場、太田　（職員）遠見石　　（６年生）２名

B：（委員）溝口、内野、田中、棚橋　（職員）石原、榊原　（６年生）２名

① 光明小２年横山探検において、どのような支援ができるか。

【Ａグループ】

・候補として、かなきの川の雨ごいぶちや青山邸がある。

・青山邸から龍山（白倉）への歴史につなげてはどうか。

・光明小２年生５０人という人数を鑑み、４グループに分けて案内し、安全確保のため各グループに地域の方が同行するという形を提案したい。

・説明は６年生が行うが、地域の方にも補足をお願いしたい。

【Ｂグループ】

・横山砦跡の八幡神社やお不動様、宝珠院も行けるのではないか。

・散策途中のトイレ確保に、ふれあいセンターさんでお借りできないだろうか。

➡快諾する（田中オブザーバー）

・一度コースを作成し、実際に歩いて確認することも必要なのではないか。説明においても、子供たちが伝える内容と補足する部分をまとめておいてもらえるといい。

② 学習活動を充実させる活動について、どのような支援ができるか。

【Ａグループ】

・光明小学校との交流の中で、体育の授業や縦割り遊びを計画する。

【Ｂグループ】

・事前に計画し、決定している活動であれば、保護者が協力することは可能であると思う。

・授業に沿った話や自然体験など、いろいろな知識を持った大人が地域の中にたくさんいる。協力をお願いしてみてはどうか。

・「竜川かるた」を活用し、横山の歴史伝承に役立ててはどうか。

その他報告事項等

学校支援コーディネーターの市川から、読み聞かせの支援について現状の説明があった。

また、司会からは、次回会議を、令和８年１０月６日（火）午後２時００分から、多目的教室で開催する旨の報告があった。

１学期　学校評価より＜成果・課題と方策＞

①　自他を大切にする子

【キャリア：仲間・自分】（人間関係形成・社会形成能力）（自己理解・自己管理能力）

＜成果＞

〇道徳の授業を中心として、主人公の気持ちについて自分の言葉で話し合い、相手のことを考えた自分の言動について考えることができた。

〇「みんなでリレー　未来へスタート」を合言葉に、地域とともに、地域や先輩から学ぶ活動を多く設定したことで、ふるさとを大切にする気持ちを全児童がもっている。

＜課題や方策＞

●決められた場所での挨拶はできるが、相手にとって気持ちの良い挨拶についてさらに考えさせたい。「笑顔で目を合わせること」を継続して声掛けしていく。挨拶プラス気付いたことを言葉にすることを勧めることで、お互いに助け合い、補い合える子にしたい。

●2学期以降も、４人だからこそできることを考え、個人・学校・地域の夢や未来を描き、課題を設定し、計画・実行・発信する場を設定していく。

②　ねばり強く取り組む子

【キャリア：解決】（課題対応能力）

＜成果＞

〇授業の毎時間の見通し、単元全体の見通し、身に付けたい力を子供と共有して授業を進めることで、教師も児童も見通しをもって学習を進めることができた。

〇学習集団の人数に合わせて、教師対児童、児童同士の学び合い、時には教師も入っての全体での話合いなど、より効果的な話し合い・学び合いができるような手立てを工夫することができた。

〇個々の実態に応じた支援を行ったり、算数科「ぐんぐん学習」を行ったりすることで、前向きに自信をもって学習する様子が見られるようになってきた。

＜課題と方策＞

●子供同士で聞き合い、話し合い、学び合うことがまだ十分とは言えないため、月2回程度、「ソーシャルスキルトレーニング」を位置付け、対人スキル（聞く・反応を返す・友達を作る）を身に付けさせていく。

●国語科、算数科以外の教科においても、４人で協働できる単元を通して、「友達の学びに気付くこと・譲り合うこと・協力して学びを作っていくこと」を目指していく。

●家庭学習の習慣が身に付いているため、「自分に必要なものを、自分で決めて考え、自分の生活に合わせて」進めることができるよう、個々に合った、自分に必要な家庭学習を一緒に考えていく。

●タイピングの技能をさらに向上させるため、昼活動に「タイピング」の時間を位置付けていく。そして、授業の中でICTを効果的に活用していく。

③ 主体的に行動する子

【キャリア：夢】（キャリアプランニング能力）

＜成果＞

〇グランドデザインの重点目標や行事、自分たちの課題と照らし合わせながら、「月の生活のめあて」を、自分たちで考え、意識しながら行動することができた。

〇委員会活動を中心に、創意工夫を生かした活動を進め、ステップアップ作戦会議で活動の擦り合わせやブラッシュアップを図ることで、４人でも工夫して楽しくイベントを行う場面が多く見られた。

〇学習カードを活用し、その子に合った目標を立てることで、運動に進んで取り組むことができた。また、光明小学校の体力テストに参加するなど、体力面での意識向上を図ることができた。

〇「ハッピー健康の日」の保健指導や、元気チェックを通して、自分の健康課題を意識する子が増え、欠席しないように自分の健康管理を意識できるようになった。

＜課題と方策＞

●これまでの活動を継続しながら、卒業まで学習面、生活面において、個々の目標・学級の目標をもち、主体的に生活できるように支援をしていく。

令和　８年　９月３０日

保護者様

浜松市立横山小学校長　長坂　麻里子

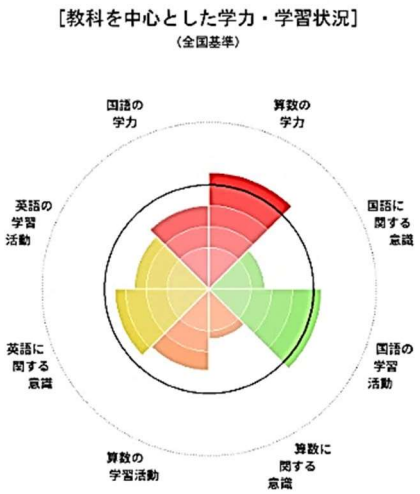
令和８年度　全国学力・学習状況調査
横山小学校の子供たちの様子について

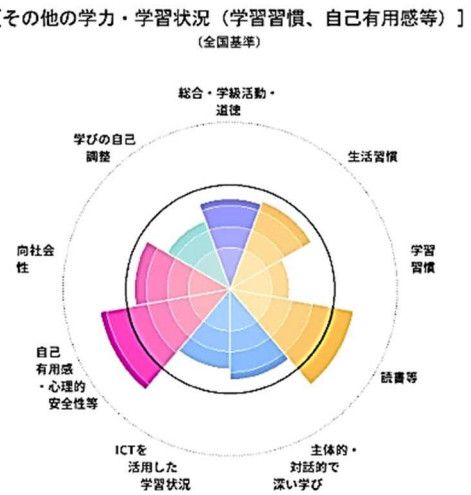
４月に行われた、全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。本校の子供たちの様子について整理しましたので、お知らせします。

この調査は、各学校の子供たちの学習や生活、意識を把握し、これからの指導に生かすことを目的としています。また、本校は少人数のため、データとして本校の平均正答率などを全国や県、市と数値で比較することはしません。クラスの傾向としてとらえて報告します。御了承ください。

なお、御不明なことがございましたら、学校まで御連絡ください。

１　結果チャート





２　本校の子供たちの結果より　（〇成果　●課題　→今後の取り組み）

【国語】

〇　学習した漢字を文の中で正しく書くことができていました。言葉の意味や使い方が理解できています。

〇　すぐにあきらめず、時間の中で集中して課題に取り組もうとする姿勢が高まっています。

●　文章や資料の内容は理解できていますが、特徴や工夫をとらえ、簡単にまとめることが難しいようでした。

● 目的や意図に応じて、必要な情報を見付けたり、自分の考えが伝わるように文章をまとめたりすることに課題がありました。
→ 文章の要点をとらえ、目的や条件に合わせて自分の考えを書く場面を意図的に設けていきたいと思います。

【算数】
○ はこの形、宅急便の送料、動物園の動物の割合、カードを使った問題、遊びの計画の時間など、児童の実生活に近い問題の正解率が高かったです。
● 数や言葉を用いて、その答えになる理由や誤りを説明することに課題がありました。
→ 自分が取り組んでいる課題が、実生活の場面として想像できるような声掛けを、日々の授業や「ぐんぐん学習」の中で意識していきます。
→ 基本的な計算問題や図形の理解、表やグラフからの読み取り等、内容の理解ができています。言葉や式を用いて、求め方やその式になる理由を説明する場面、友達の考えを取り入れて自分の考えを作り上げる場面を授業の中で多く取り入れていきたいと思います。

【児童質問用紙】
○ 自分にはよいところがあり、地域や社会のため、人の役に立つ人間になりたいと思っている、また、普段の学校生活や友達関係に満足している傾向が見られました。
○ ICT 機器を使って調べたり、情報を集めたり、発表のスライドを作成したりすることができると回答した子が多かったです。
● 国語や算数などの学習が将来役に立つという考えのもと、授業に進んで取り組んでいる様子が伺えました。しかし、自分と違う意見について考えることの楽しさや、自分で学び方を考え、工夫し、次の学習につなげるという実感ができるところまでには至っていないようでした。
● 学校の授業時間以外や土日に、学習したり、ICT 機器を使って学習したり、読書をしたりする時間が短い子が多いです。
→ 学習したことが役に立つと思うと考える子が多く、授業に前向きに取り組んでいる様子が分かったので、友達と考える楽しさや、課題を解決する喜びを味わえるような場面をつくっていきたいと思います。
→ 自分が学習していることが、どうつながり、どういうところで生かされていくかということへの声掛けを意識しながら授業づくりをしていきたいと思います。

昨年度の学力調査に比べ、決められた時間の中で集中して粘り強く取り組もうとする意欲や姿勢が高まってきています。

それぞれの御家庭でも、夏休みの面談でお渡しした個人票をもとにお子さんの実態を確認していただき、これからの学習に生かしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

光明小2年生　横山探検実施計画

081006　学校運営協議会資料

1　目　的

・　国語科「おすすめパンフレットをつくろう」で作成したパンフレットを光明小の2年生に紹介し、横山小の学区を案内する。（横山小6年）

・　光明小学校の新たな学区、横山地区を知り、学区それぞれの地域の人・もの・ことについてのまとめに生かすことができる。（光明小2年）

2　日　時　令和　8年12月11日（金）　9:40～11:00　　予備日なし

3　日　程　・　活　動

9:00　　光明小出発（浜松市通学バス2台）

9:15　　横山小到着

9:40～11:00　横山探検　　※雨天時は体育館で交流活動を実施

○　4グループに分ける

各グループ…光明小2年12～13名、横山小6年1名、職員各校2名、CS 委員1名

○　探検する場所

案①　横山橋→かなきの川雨ごい渕→橋→青山邸

②　八幡神社（横山砦跡）→宝珠院

※　学校運営協議会までに、6年児童が決めておく

※　横山小児童は国語科で作成したパンフレットの配布と道案内（先頭を歩く）を行い、探検場所での説明は CS 委員にお願いすることで、児童の負担を減らす。（授業内容外の活動のため）

○　CS 委員へのお願い

・　安全確保のために、各グループ一人ずつ同行をお願いしたい。（計4名）

・　探検する場所での説明を一人ずつお願いしたい。（計2名）　　全体計6名

11:30　　横山小出発

11:45　　光明小到着

4　参加者

・　光明小　2年生児童　50名（発達学級児童1名）　職員　2名

・　横山小　6年生児童　4名　職員　2名

・　横山小CS委員

5　持ち物・服　装

（光明小児童）

（横山小児童）

（職員）

6　光明小との打合せ事項

参考資料（Ｒ７）

令和７年10月吉日

地域ボランティアの皆様へ

浜松市立横山小学校　学校運営協議会

この度は、横山小学校図書室・郷土資料室整備のボランティアに御協力いただき、ありがとうございます。

下記のとおり、作業を実施したいと思いますので、御参加のほどよろしくお願いいたします。

記

１　日　時　　令和７年１１月２７日(木)　13:30～15:00

２　内　容　　今回は、郷土資料室内の整備となります。

- 郷土資料室内の清掃（ほこりを払い、ガラスケースを拭くなど）
- ガラスケース内の防虫剤の入れ替え
- 展示品表示用カード立ての入れ替え

３　その他　　雑巾、ビニール手袋など掃除用具は学校で用意します。
御都合の悪い方、内容について質問のある方は、１０月３１日(金)までに下記問い合わせ先まで御連絡ください。

なお、図書室整備ボランティア実施日につきましては、１２月１１日（木）　13:30～15:00 を予定しております。引き続き御協力の程、よろしくお願いいたします。

問い合わせ先
浜松市立横山小学校　　学校運営協議会
事務局　　川村雄司（教頭）
学校支援コーディネーター　　市川有佳　　太田亜希子

令和８年９月３０日

光が丘中学校区運営協議会委員　様

光が丘中学校区青少年健全育成会
会長　松井　章泰
家庭教育委員会長　棚橋　　凌

令和８年度　光が丘中学校区青少年健全育成会・ＰＴＡ
教育講演会について【御案内】

秋晴の候、皆様には、ますます御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は、青少年健全育成会並びにＰＴＡの活動に御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、下記のとおり、光が丘中学校区青少年健全育成会主催　教育講演会を開催いたします。多くの皆様に御参加いただきたく、御案内申し上げます。参加希望者は、さくら連絡網（アンケート）にて御回答ください。

記

１　主　催　　光が丘中学校区健全育成会
※浜松市ＰＴＡ連絡協議会中学校区別ＰＴＡ研修会を兼ねて行います。

２　対　象　　光明小学校５・６年生、横山小学校６年生
光が丘中学校１～３年生
光が丘中学校区健全育成会委員、ＰＴＡ役員、学校運営協議会委員

３　日　時　　令和８年１１月２０日（金）　午後１時５０分～２時５０分
※受付　午後１時３０分～１時４５分

４　会　場　　浜松市立光が丘中学校　体育館

５　内　容　　演題　「教科書が教えてくれない、君だけの『命のルーツ』
あなたは、あなただけの応援団を信じられるか？」

６　講　師　　塩崎　明子（しおざき　あきこ）氏
ひまわり 2525 プロジェクト　浜松市中央区篠ヶ瀬町
株式会社みそら／行政書士法人みそら　https://www.misora.biz

７　駐車場　　光が丘中学校特別棟北側駐車場（雨天時も同様）

８　申込み　　参加を希望される方は、さくら連絡網にて１０月２３日（金）までに御回答ください。

光が丘中学校区青少年健全育成会
家庭教育委員会
庶　務　鈴木正委（横山小 教頭）
ＴＥＬ　９２５－３０３２
ＦＡＸ　９２５－６０４１

浜松市立光が丘中学校　駐車場案内



◆二俣方面からお越しの方

- 山東交差点を佐久間、水窪方面に進んでください。
- ファミリーマートを左手に見ながら、その先の押しボタン式信号を右折して、坂を上がってください。

◆船明方面からお越しの方

- 学校の運動場を左手に見ながら信号を左折してください。

◆春野方面からお越しの方

- 学校南の八幡宮の横から学校に入ることができます。分からない場合は、山東交差点を北上してください。

- 学校敷地に入ったら坂を上がり、体育館の方へ進んでください。
- 今回の駐車は、「技術棟北駐車場」にお願いします。
- 技術棟北側の駐車場は、空いている所に停めてください。

※校舎と体育館の間は生徒の移動があるので通過する際には、十分注意してください。



令和８年１０月６日

学校運営協議会委員　各位

横山小学校運営協議会
会　長　　青山　敏郎

令和８年度学校運営協議会自己評価について【お願い】

清秋の候、学校運営協議会委員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から、本協議会の活動につきまして御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、学校運営協議会は、浜松市学校運営協議会規則第 8 条第 2 項に基づき、毎年度、自己評価を行うこととなっています。各委員の自己評価を基に、２月の第４回学校運営協議会で熟議し、協議会の自己評価として教育委員会へ提出します。

つきましては、「令和８年度　学校運営協議会自己評価表」（別紙）に御記入をいただき、学校への提出をお願いいたします。

１　目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

２　方法

①　まず、別紙「熟議チェックシート」について、「できている」、「もう少し」を判断して記入します。

②　次に、別紙「振り返りのポイント」を参考にして、①の「熟議チェックシート」をもとに、評価項目１～４について記入します。ア～エのいずれかを○で囲み、その理由を記入します。

※　協議会資料（緑のファイル）や同封した会議録なども参考にしてください。

３　提出

令和８年１２月４日（金）までに、**「令和８年度　学校運営協議会自己評価表」のみ**、次のいずれかの方法で学校（担当　教頭　鈴木）まで提出をお願いいたします。

・ＦＡＸで送付する。（横山小学校：９２３－００８２）
・返信封筒に入れ、お子様等の児童を通して提出する。
・遠距離の方については、返信封筒に入れ、郵送する。
・お出かけの際に、直接学校へお届けいただく。

浜松市立横山小学校
担当：教頭　鈴木　正委
電話：９２３－００７３
FAX：９２３－００８２

学校運営協議会自己評価実施要項

浜松市教育委員会

1　趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年　浜松市教育委員会規則第２号）第８条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2　評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3　評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須）　※全ての協議会で行う。

1　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

2　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

3　協議会の結果について、十分な情報発信を行ったか。

4　今年度の評価を踏まえた来年度の目標

（参考）　※各協議会で追加する項目があれば設定する。

4　自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式１により、簡潔にとりまとめる。

5　評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、ＣＳ便り、学校のホームページ、連絡アプリ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6　評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式１を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア　様式１の活用

様式１は教育委員会学校・地域連携課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ　評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附　則

この実施要項は、令和２年９月１日から施行する。

この実施要項は、令和５年４月１日から施行する。

この実施要綱は、令和７年１０月１日から施行する。

＜振り返りのポイント＞

（様式２）

令和８年度　学校運営協議会自己評価表

委員名（　　）

＜本年度の目標＞

※　前年度に協議会で協議した目標を記載する。
※　目標が、会議体として相応しい目標となっているか、また、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。

＜評価項目１＞　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒　ア　よくできた　　イ　できた　　ウ　あまりできなかった　　エ　できなかった
（理由）

※　参考資料【熟議チェックシート】の評価項目１をもとに、振り返る。
※　委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
※　学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

＜評価項目２＞　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒　ア　よくできた　　イ　できた　　ウ　あまりできなかった　　エ　できなかった
（理由）

※　参考資料【熟議チェックシート】の評価項目２をもとに、振り返る。
※　委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
※　成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

＜評価項目３＞　協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒　ア　充分に行った　　イ　行った　　ウ　あまり行わなかった　　エ　行わなかった
（理由）

※　協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。
※　委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。

＜評価項目４＞　今年度の評価を踏まえた来年度の目標

※　委員個人の目標ではなく、協議会の目標を記載する。
※　学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
★　自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

【参考資料】

【　熟議チェックシート　】

氏名（　　）

	できている	もう少し	
評価項目　1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを遠慮なく質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞置くだけでなく、よりよい学校運営のために委員が建設的な意見を発言できた。
			委員が、学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、委員が率直に意見を述べることができた。
評価項目　2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。